



2021 年 11 月 26 日

三重県から「脱炭素経営支援業務」を受託したことについて

株式会社百五銀行（頭取 伊藤 歳恭）は、グループ会社の株式会社百五総合研究所（社長 荒木 康行）が三重県から「脱炭素経営支援業務」を受託したことにもない、同社および株式会社ウェイストボックス（本社：名古屋市中区 代表取締役 鈴木 修一郎）と連携して、三重県内事業者に対して脱炭素経営の取組みを推進していくこととなりましたので、下記のとおり、お知らせします。

気候変動対策としての脱炭素化は、世界規模で取り組むべき重要な課題であり、大企業だけでなく地域の中小企業においても早急な取組みが求められています。今後も当行では、脱炭素化支援に関するメニューの拡充を図るとともに、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めていきます。

記

1 経緯

- （１） 三重県は、2019 年 12 月、脱炭素社会の実現に向け取り組むことを決意し、「ミッションゼロ 2050 みえ～脱炭素社会の実現を目指して～」を宣言。
- （２） 2020 年には、「ミッションゼロ 2050 みえ推進チーム」を設置、重点テーマである「脱炭素経営の促進」に向けた具体的なアクションがスタート。

2 目的

脱炭素経営に取り組もうとする県内企業等に対して、アドバイザーを派遣するなどし、脱炭素経営の理解促進、温室効果ガス排出量の現状確認や S B T（Science Based Targets）に整合した温室効果ガス削減目標の設定支援などを行い、県内企業等における脱炭素経営の取組みを促進します。

3 業務内容

本業務では、県が募集する中小企業 3 社に対して、次の 5 つのステップで業務を進め、脱炭素経営の取組みを促進します。

ステップ	概 要
①キックオフ会議	脱炭素経営の理解促進
②アドバイザー派遣（1 回目）	進め方説明、温室効果ガス排出量の現状確認、データ提供依頼
③アドバイザー派遣（2 回目）	S B T 認定基準に準じた中長期の温室効果ガス削減目標の検討
④アドバイザー派遣（3 回目）	目標達成に向けた 3 か年程度の計画策定（目標と具体的取組検討等）
⑤取組成果共有会	成果や課題等の共有・展開、ネットワーク形成

以 上